

「令和3年版県民活動白書」の概要

第1部 県民活動の現状と課題

【NPO法人数】 対前年度比8法人増の425法人

【県民活動団体数】 対前年度比12団体増の2,443団体で着実に増加

区 分	H28	H29	H30	R1	R2
NPO法人数	431	434	430	417	425
県民活動団体数	2,252	2,314	2,374	2,431	2,443

【活動団体が抱える問題】 「会員の高齢化」が最も多く、次いで「新規会員の獲得が困難」「会員や運営スタッフの不足」など人材に関するものが上位を占める。

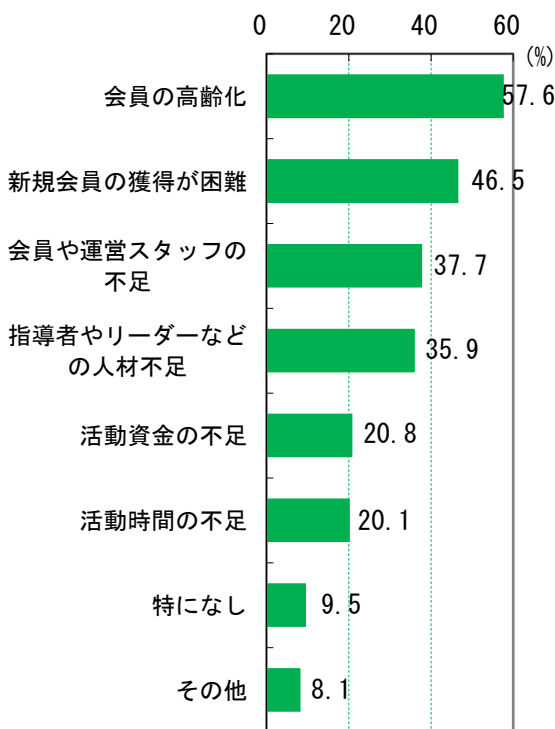
【プロボノ活動の認知度】 「知らない」が約6割を占める。

⇒ プロボノワーカーの支援により団体が抱える問題の解決や活動の質の向上に繋がることなどプロボノ活動及びそのメリットについて、県内全域への普及啓発が求められる。

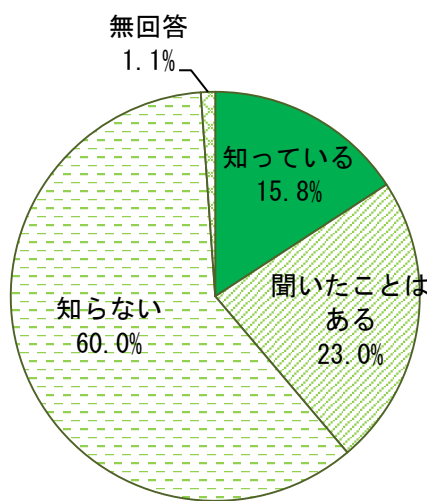
【プロボノワーカーの支援】 「積極的に支援を受けたい」「機会があれば支援を受けたい」が5割を超えており、支援の必要性や魅力を感じている団体は多い。

⇒ プロボノワーカーの掘り起こしや支援できる体制づくりが求められる。

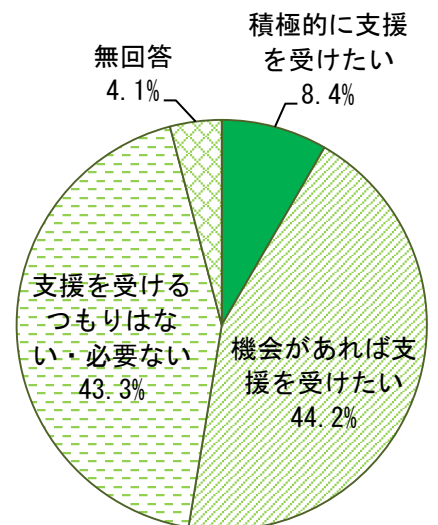
【活動団体が抱える問題】



【プロボノ活動の認知度】



【プロボノワーカーの支援】



第2部 令和2年度における県民活動関連施策（実績）

基本方針1：県民活動への理解と参加の促進

●花博のボランティア等への情報発信や活動の場の提供など裾野の拡大に向けた取組を展開	アンバサダーだよりの発行 4回 出前講座 9回 183名(オンライン併用)
●若年層を対象としたボランティアイベントの開催	ボランティア体験説明会等の開催

基本方針2：県民活動団体の自立・持続的発展に向けた環境づくり

●モデル事業を活用し、様々なソーシャルビジネスの県下全域への普及を促進	新 創業事例集作成や専用HP開設 4回 105名(オンライン併用) 受入団体 5 プロボノワーカー 23人 オンライン報告会 56名 県民活動支援センターICT環境整備 団体への助成 54件
●団体の財政基盤強化に向けた資金調達手法等のセミナーを開催	
● 新 県外からプロボノ活動実践者を呼び込むことで、県民活動の活性化を図り、継続的に地域に関わる関係人口の拡大を促進	
●新しい生活様式に対応した社会貢献活動等に取り組み県民活動団体を支援	

基本方針3：県民活動団体と多様な主体との協働の推進

●協働の推進ネットワーク会議の実施により、多様な主体との協働の仕組みづくりを構築	R2.11.19開催、参加者数 50名
●食品関連事業者の食品ロスをフードバンクで活用する取組の推進及び活動の拡大・定着を図る普及啓発や連携を強化	協力事業者の開拓 活動の拡大・定着に向けた普及啓発

第3部 令和3年度における県民活動関連施策（計画）

基本方針1：県民活動への理解と参加の促進

●県民ゆめはなアクション推進事業	花博のボランティア等への情報発信や活動の場の提供
●県民活動推進事業	大学生向けボランティア団体活動説明会等の開催

基本方針2：県民活動団体の自立・持続的発展に向けた環境づくり

●県民活動推進事業	資金調達手法等のセミナー開催
●域外パワー活用地域貢献推進事業	プロボノ活動による団体支援や活動実践者による普及啓発 成果発表・交流会の開催

基本方針3：県民活動団体と多様な主体との協働の推進

●県民活動推進事業	協働事例の調査・分析や協働関係強化セミナーの開催
● 新 ぶちエコやまぐち3R推進事業	食品ロスやプラスチック廃棄物について、3Rの取組を推進

第4部 市町における取組

- 活動の概況、取組方針及び関連事業
- 条例・計画、支援措置等の状況
- 市町民活動支援センター等の県民活動支援拠点（機関）の取組